

JIC定例記者会見

2023年12月20日

株式会社 産業革新投資機構
Japan Investment Corporation

JIC

- 株式会社 産業革新投資機構（JIC : Japan Investment Corporation）は、2018年9月、産業競争力強化法に基づき、オープンイノベーションを通じた産業競争力の強化と民間投資の拡大という政策目的の実現に寄与するべく、発足した投資会社。
- JICは、傘下のファンドや民間ファンドへの投資を通じて、政策的に意義のある事業分野へのリスクマネーを供給。

JICグループ



株式会社INCJ（設立:2018年9月）

既存の官民ファンドである株式会社産業革新機構から新設分割する形で発足。産業や組織の壁を越えて、オープンイノベーションにより次世代の国富を担う産業を育成・創出することを目的とした投資活動を行う。



JICベンチャー・グロース・インベストメンツ株式会社（設立:2020年7月）

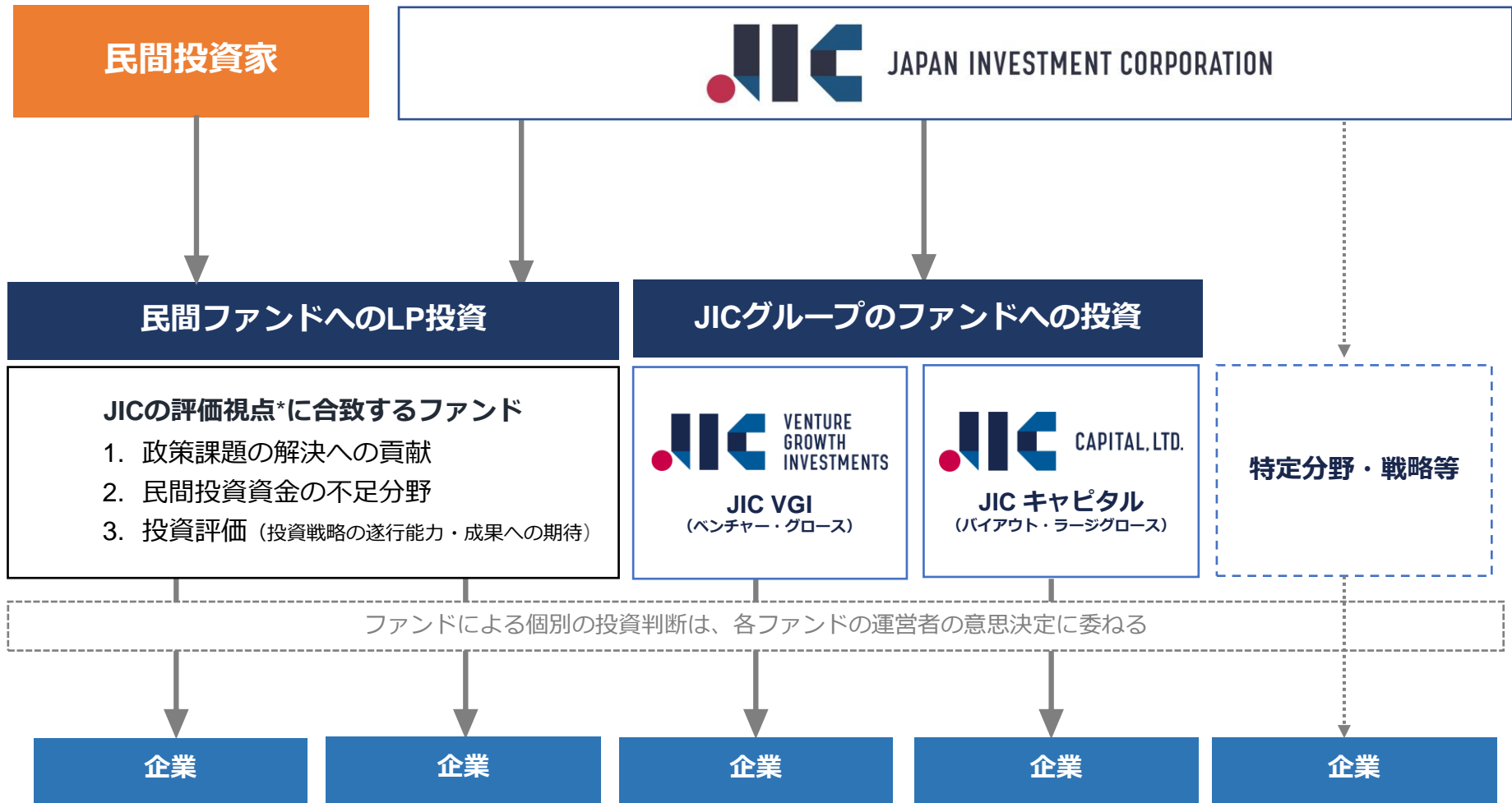
ベンチャー・グロース投資活動により我が国のイノベーションを促進し国際競争力の向上に寄与。産業及び社会課題の解決を目指す。



JICキャピタル株式会社（設立:2020年9月）

Society5.0実現に向けた新産業の創造、国際競争力強化に向けた事業再編の促進、デジタルトランスフォーメーション（DX）促進をはじめとした次世代社会基盤の構築に向けたリスクマネー供給を担う。

- JIC本体は、原則、ファンドへの投資を行い、JICグループのJIC VGI、JIC キャピタルが企業等に対する投資を行う体制。



*上記視点に加えて、募集状況、ファンド（運用者）の成長段階、JICの役割・ポートフォリオ等の観点を総合的に勘案する。

- 2019年12月の新体制発足以降、投資活動を行うための集中的な体制整備、組織の再構築を経て、投資活動を本格化。JICが、民間ファンド、グループ子会社2社（JIC VGI、JICキャピタル）が運用するファンドに対し、出資約束を行った実績は以下の通り。



民間のVC・PEファンド



ファンド数 : 34
出資約束総額 : 1,689億円

1号 : 1,200億円 (20年9月設定)
2号 : 2,000億円 (23年1月設定)
オポチュニティファンド : 400億円 (23年9月設定)

1号 : 2,000億円 (20年11月設定)
共同投資ファンド* : 9,000億円 (22年10月変更決定)

戦略	地域	ファンド数	出資約束額
VC	国内	23	793億円
	海外	9 (*)	556億円
PE	国内	2	340億円

*共同投資ファンドについて、20年の設立時に比べ、国内市場で大型案件が増加傾向にあり、JICとして取り組む政策的意義のある案件が含まれ得ることに伴って、増額

*主として海外のスタートアップに投資するファンドは、以下の観点から政策的な意義を認め、投資している。
(2023年11月30日時点の為替レートで換算)

- ✓ 国内事業会社等のオープンイノベーションの促進
- ✓ 日本発の創薬シーズを海外のエコシステムを活用し事業化
- ✓ 国内VC・スタートアップと海外VCとの連携強化

VC、スタートアップ分野

- 政府の「スタートアップ育成5か年計画」も踏まえ、JICとしては、「ディープテック」、「ライフサイエンス」、「プレシード・シード」、「グロース」、「ゴー・グローバル」等の分野を重点として継続支援。
 - ① JIC VGIは累計64件に投資実行（12月20日時点）。グロース分野に加え、ディープテック・ライフサイエンス分野への支援を強化した2000億円の2号ファンド、ダイレクト・セカンダリーや上場済スタートアップへの成長資金供給を戦略とする400億円のオポチュニティファンド（OPF）による投資検討が進捗。12月15日には、OPFによる上場済みスタートアップへの投資の第1号案件を公表。本日（12月20日）新たにJIC VGIの投資先の1社が上場し、これまでに4社が上場。
 - ② 国内VCへのLP出資を通じたGPの成長支援に加え、海外VC（例：NEA、Vertex）へのLP出資による、海外VCと国内VC、スタートアップとの連携強化など、グローバル水準のスタートアップ創出・育成に関する機能・プレーヤーを日本市場に導入・育成していく方策を柔軟に検討。

PE分野

- DXやGXなど、技術革新・市場変化に伴う新産業創出、産業構造の変革が求められる中、JICは、JICキャピタルによるバイアウト・ラージグロース分野のPE投資を中心に、産業競争力の強化に貢献していく。
- JICキャピタルは、
 - ① 経営統合を通じた、車載用リチウムイオンバッテリー材料メーカーとしての競争力強化
 - ② 成長投資を通じた、CASE領域のシステムサプライヤーとしての競争力強化
 - ③ 非公開化を通じた、半導体材料産業の国際的な競争力強化
 - ④ 非公開化を通じた、先進半導体パッケージ分野の競争力強化に取り組む投資案件を公表。これらを着実に実行していくとともに、新たな案件の組成に取り組んでいく。

DE&I (Diversity Equity and Inclusion) の本格推進

✓ DE&Iの推進をJICグループの重要な経営戦略と位置付け

- ・ DE&I推進を行動規範等に明示的に位置付け、役職員の人事目標設定にも取り込み、DE&Iを実現する行動の実践を促進

✓ DE&Iを推進するためのグループ内での体制構築



DE & I推進委員会（委員長：JIC代表取締役社長）

- ・ 取組案の審議・決定、グループ内へ実行指示、取組の進捗状況の確認・見直し

DE & I推進チーム（グループ内職員にて構成）

- ・ DE & Iを推進するための取組の企画立案
- ・ 社内職員の意見のとりまとめ

グループ内職員

- ・ DE & Iを推進するための取組の実践
- ・ 業界全体への働きかけ

✓ JICグループ内のDE&I組織経営の推進

- ・ DE & Iを意識したグループ内の制度改正等に着手
- ・ DE & Iに関係する研修を役職員向けに年明けから実施 等

DE&Iの本格推進（続き）

✓ DE&I推進に向けた普及啓発・情報発信

- ・ JICホームページにおけるDE&Iに係る記事の掲載や、毎年2回実施する記者会見等での継続的な情報発信

✓ JICグループが有するネットワーク等を活用し、業界全体への情報発信、働きかけ

- ・ 各種団体や社外の活動への参加・貢献（AVCJ※ Private Equity & Venture Forum 等）

✓ VCへの支援を通じた働きかけ

- ・ 海外機関投資家等のDE&Iを推進するVCへの視点・評価等の情報を収集
- ・ JICの出資先VCに対し、DE&Iの観点を意識したキャピタリスト等のメンバーの採用やDE&Iに関する取組状況の報告を要請
- ・ JICの出資先候補として、DE&Iに積極的に取り組むVCを検討

※ AVCJ : Asian Venture Capital Journal

JICグループについて

- ・ 政府から、2050年までの運用期限延長の方向性が示されていることを踏まえ、中長期的な視点で、JICグループ全体の組織・活動の在り方についても検討していく。JICとしてのESGへの取組（PRI※署名済）、DE&I推進などは、中長期的な活動の基盤づくりの布石。

※PRI（Principles for Responsible Investment：国連責任投資原則）：環境、社会、ガバナンスの視点を投資に組み入れる等の機関投資家の投資原則